

語りと音楽の会 ともだちや 二〇二五 春の公演

宮澤賢治

# チユンセとポウセの物語

二人の童子が登場するお話をふたつと、妹トシの死を悼む詩から、賢治がチユンセとポウセに込めた祈りに想いを寄せます。



■語りによる

「手紙四」

無声慟哭より

「永訣の朝」

■語り クラリネット ヴァイオリン

ピアノとリードオルガンによる

「ふたごの星」

2025 4/19(土)

小金井宮地楽器ホール(小ホール) 15:00開演

料金/前売り 2,700円 当日 2,900円

☎詳細は裏面

語りと音楽の会 ともだちや 2025年春の公演

# 宮澤賢治 チュンセとポウセの物語

賢治は弟や妹たちのために、極めて早い時期からいくつもの童話を書いていました。そして出来上がったお話を弟妹たちに読んで聞かせるのでした。弟の宮澤清六さんは、出来上がった童話を実際に賢治から読んで聞かせてもらったと証言しています。「ふたごの星」もそんな童話の一つです。ここには宮澤賢治という人の他者に対する想いが見て取れます。その中でも特に、自分の弟妹への愛情が二人の主人公を通して透けて見えるように思うのです。「手紙四」と共にその“想い”を読み解いてみたいと思います。

## ■出演 語りと音楽の会 ともだちや



代表・語り  
たに かずこ

「チュンセ童子、それでは支度をしましょう。」

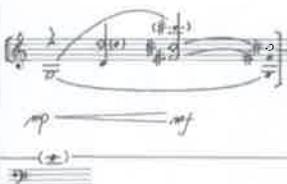
「ポウセ童子、それでは支度をしましょう。」

二人はお宮にのぼり、向き合ってきちんとと座り銀銜をとりあげました。

丁度あちこちで星めぐりの歌がはじまりました。



ヴァイオリン  
甲斐 史子(ゲスト)



ピアノ  
井上 郷子(ゲスト)



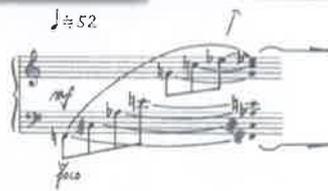
photo by Masaco Kondo



クラリネット  
菊地 秀夫(ゲスト)



リードオルガン  
有留 真理



「あかいめだまの さそり  
ひろげた鷲の つばさ  
あおいめだまの 小いぬ、  
ひかりのへびの とぐろ。  
オリオンは高く うたい  
つゆとしもとを おとす。」



作曲  
小内 将人

お話  
村岡 健一郎

2025 4/19 (土) 14:30 開場/15:00 開演

料金/前売り 2,700 円 当日券 2,900 円

小中学生の無料招待あり(未就学児不可)

詳細は学校に配布のチラシを参照のこと)

視覚障害者の優待あり(同伴者は無料です)

場所/小金井 宮地楽器ホール(小ホール)

主催/語りと音楽の会 ともだちや

後援/小金井市 小金井市教育委員会

お問合せ/こうち (090-9972-0474)



駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください。